

社会福祉法人 立正たちばな会

リボン保育園

施設関係者評価・自己評価

リボン保育園

〔記入方法〕

A、B、C、Dの4段階評価です。該当する欄に○を付けてください。
項目ごとに、意見・改善策を記述してください。

A	たいへんよい
B	よい
C	一部検討を要する
D	改善を要する

項目

◎ 保育の計画の編成と実施に関する評価

項目	内容	2024年度(令和6年度) 自己評価				意見・改善策
		評価				
		A	B	C	D	
保育目標・保育方針	(1) 保育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。		○			<ul style="list-style-type: none"> ・保育目標などの掲示場所をきちんと周知していく。 ・せっかく部署が増えているので、それぞれの特色を各部署共に活かし取り入れていきたい。 ・食育目標について、全職員で検討は出来ていないので改善していきたい。 ・働き初めてまだ日にちがたっていないので、保育目標にまで考えが及んでいないが、今後心がけたい。
	(2) 目標は、各施設や地域の特色を生かしているか。	○				
	(3) 目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。		○			
	(4) 目標は、前年度の反省を生かしているか。		○			
	(5) 目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。		○			
保育計画	(1) 指導計画は、乳幼児の実態に即して作成しているか。		○			<ul style="list-style-type: none"> ・プロとしての専門的知識を、より深めていく自己啓発を促す雰囲気作りが必要。 ・できるようになっていく楽しみや意欲をどう育ていくのか、その時期をどう過ごすべきかを職員間で考えていきたい。 ・用具が古くなっている物などを細目に確認し、用具でのケガなどが起こらないように気を付けていき、物を大切にすることを養う保育を心がけていきたい。
	(2) 保育園保育指針に基づく、援助・支援を適切に行っているか。		○			
	(3) 環境の構成を意識した保育や、過程を常に工夫しているか。		○			
	(4) 素材・用具を適切に活用しているか。		○			
	(5) 評価結果を基に、保育の改善に努めているか。		○			
日時程	(1) 1日の流れ(デイリープログラム等)は、現行でよいか。		○			・疑問を感じたら都度見直し改善している。
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。		○			<ul style="list-style-type: none"> ・行事の数や時間は減ったが、その分しっかり目当てや、ねらいを持って取り組んでいる。リボン保育園らしさを感じたりアピールできたりする行事が昨年度に比べ積極的に取り組んでいる。 ・他施設の行事の準備がギリギリになっていることが多いと感じるので、前もって早めに声掛けをし協力していく。 ・今年度、初めてかき氷を子ども達と楽しむことが出来た。継続したい。
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。	○				
	(3) 乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか。		○			
	(4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。		○			
	(5) 保護者の願いや意見を取り入れているか。	○				

◎ 保育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価

項目	内 容						
経営組織	分掌体制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。		○			<ul style="list-style-type: none"> ・在宅ワークやフリーの時間を設け有効に使えている。まだまだ勤務時間内で出来ない事も多く改善策や工夫が必要。 ・組織が大きくなり働き方も個人に合わせて選べるようになってきている。それが良い反面、他人事になっている部分もある。さらには仕事量が偏っていると感じているので全体で改善していく。
		(2) 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。		○			
		(3) 職員の配置は、適材・適所か。		○			
		(4) 係や仕事の分担・割り当ては適切か。		○			
	運営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。		○			<ul style="list-style-type: none"> ・今年度はリーダー会を定期的に行い、行事や各お部屋のことなど、その都度話し合いがきちんと出来ている。しかし、その他の各会議の時間が長引いていることもあり、午後の業務に影響の出ないように改善していきたい。
		(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。		○			
		(3) 打合せ回数、時間、内容は適切か。		○			
	年齢別・クラス経営	(1) 年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定しているか。		○			<ul style="list-style-type: none"> ・数か月や一年の月齢の違いでも、小さい子への思いやりが見られると異年齢の良さを感じ、その雰囲気大切に保育に繋げていきたい。 ・入社間もない職員や法人歴の長い職員を合わせたのチーム保育の形を近々に整えていきたい。 ・子どもの様子に合わせ目標を高く設定したり、低く設定したりして「できるようになった喜び」など自己肯定感を育んだり出来るよう意識している。この先も子ども達の興味を多く引き出せたりなど工夫していく。
		(2) 年齢別・クラス目標は、乳幼児の実態に即して設定しているか。		○			
		(3) 年齢別・クラス目標に迫る短期・長期のねらいは、適切に設定しているか。		○			
		(4) 同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。		○			
		(5) 意義や趣旨を理解したチーム保育を行っているか。	○				
		(6) 評価、資料（諸記録）を集積しているか。		○			
	保健安全指導	(1) 年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じているか。	○				<ul style="list-style-type: none"> ・看護師の職員が増え、感染症やその対策、ケガや発疹などその場ですぐに相談することができる体制になり有り難い。 ・避難訓練では災害内容を知らせないシークレット訓練の実施が必要。家庭へはより踏み込んだ啓発活動を考えても良い時期になってきたように思う。
		(2) 避難訓練・交通安全指導を計画に基づいて、適切に実施しているか。		○			
		(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。		○			
(4) 乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。			○				
研究研修	園内研究研修	(1) 研究主題は、保育目標の具現化につながるものであるか。		○		<ul style="list-style-type: none"> ・勤務時間等の制約はあるが、自分に必要な研修を積極的に受講していきたい。 ・業務に追われ、自発的に研修に参加しようとしていなかったため、今後は時間を工夫し受講できるオンライン研修などを在宅時に受講していきたい。 ・今年度前半は、配置基準を満たす為に参加を抑えたり、オンライン研修を在宅時に時間がある職員が参加しているのが現状である。後半に向けて可能な限り参加できるように工夫していきたい。 	
		(2) 園内研修の計画・運営は適切か。		○			
		(3) 研究の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させているか。		○			
		(4) 研究の実践による乳幼児理解が深まりを見せているか。		○			
	園外研究研修	(1) 各種研究会、研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。	○				
		(2) 各種研究会、研修会、講習会での内容を園内に還元しているか。	○				

項目	内容					
情報について	(1)乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか。	○				チャットワークを個人の携帯で確認できたりと便利な反面、携帯の紛失や盗難時に個人情報の紛失が気になる。紛失した際には、上長への届出を行うことが決まっているのか。決まっているのなら周知していかなくてはならない。
	(2)公文書收受、発送、処理を適切に行っているか。	○				
	(3)各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理しているか。		○			
施設設備	(1)施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。		○			・お寺もあり、出入りされる方も多く、不審者対策にもなるので、挨拶やお声がけを全職員で行う必要がある。 ・建築され10年以上となり、一度全部屋のエアコンクリーニングをお願いしたい。 ・外遊具や避難車が雨に濡れてしまう状態なので、外用の倉庫があれば良い。
	(2)遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか。		○			
	(3)不審者等に対応する周到的配慮を行っているか。		○			
	(4)掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。	○				
出納	(1)各種会計を適正かつ適切に処理しているか。	○				・事務の先生方が、きちんと徴収や管理をされている。
開かれた保育園づくり	施設間交流連携	(1)他施設等との年間交流計画は、保育目標や課題に添ったものになっているか。		○		・運動会前に、川西保育園園庭に遊びに行ったりと、川西の園児と関わる機会が出来た。夏にいちょうの家学童教室の子ども達が、保育士体験でお部屋に入り、兄姉がいない子どもも小学生と触れ合い、お兄さんやお姉さんという存在と過ごす機会が良い経験だと感じた。 ・事業所連携の会議を通して「今の」各事業所の動きを知ることができ、チャットワークでの共有を図っているが、あまり周知できていない。
		(2)他施設等の幼児児童生徒と触れ合う中で、(乳)幼児が楽しく過ごし充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。		○		
		(3)指導者どうしが、打合せや事前研修・合同研修を行い、互いの保育・教育に対する理解を深め、援助について共通理解を図っているか。		○		
		(4)日常的に情報を交換し、それを交流活動に生かしているか。		○		
家庭との連携地域社会	(1)参観時間を制限せず、保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。		○		・リボンの日へのお誘いを自分なりに根気強くやっているが「ぜひ経験してほしいな」というご家庭に未だに参加して頂けていないので声かけをさらに工夫していきたい。 ・この秋に初めて支援と園見学ツアーを実施予定。どう感じて頂けるのか楽しみでもあり、不安でもある。貴重な時間になるので継続したい。	
	(2)保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。		○			
	(3)乳幼児の興味や関心に基づいて、地域社会・その他の施設と交流しているか。		○			
	(4)地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。		○			

項目	内 容						
開 か れ た 保 育 園 づ く り	子 育 て 支 援 の 推 進	(1) 地域の子育てセンターとして、園庭や保育室等を開放しているか。	○				<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの入園と同時に職員となった。ほけつでの時間が子育ての息抜きにもなっていたので、たくさんの方々に伝えていきたい。 ・ぱくぱくらぶの日を支援の先生方と一緒にもっと充実したものになりたい。 ・より専門的な知識を含んだ子育て相談ができるように研修を活かしていきたい。 ・講座ではなくふらっと立ち寄れる日を増やしてほしい。
		(2) 地域に住む子どもどうし、あるいは親子と一緒に遊ぶことができるような場の設定を行っているか。	○				
		(3) 「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。	○				
		(4) 職員による育児に係る「子育て相談」は、充実しているか。	○				
		(5) 医療機関や児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。		○			
	情 報 の 発 信	(1) 保育園だより、クラス通信、ホームページ等で施設の情報を発信しているか。	○				<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページは自慢できる品質。この品質をいかに維持するかが大切。 ・様々な情報をせっかく発信しているので、もっと多くの皆さんに見て頂けるように声掛けをしていく。 ・今年度は自分達で編集をしたり、投稿出来るような体制を整えた(投稿は給食室)。今後もさらに家庭への発信を検討していきたい。
		(2) 行事や子育て支援事業等を地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。		○			
	外 部 評 価	(1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。		○			<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は自分達で編集をしたり、投稿出来るような体制を整えた(投稿は給食室)。今後にもさらに家庭への発信を検討していきたい。
		(2) 地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか。		○			